

令和7年度 第1回江別市総合戦略推進委員会 会議録（要点筆記）

日 時：令和7年8月6日（水）午後6時から午後6時50分まで

場 所：市民交流施設「ぷらっと」会議室A・B

出席委員：福沢康弘委員長、龍田昌樹副委員長、保田真希委員、布施望委員、
佐々木尚弘委員、佐藤裕則委員、干野里佳委員、佐藤誠一委員、
小橋恵美委員、鈴木笑子委員
（計10名）

オブザーバー：北海道石狩振興局地域創生部 矢野敦子部長、
日本IBM（株）佐藤潤地方創生担当部長/シニア・マネージング・コンサルタント
（オンライン参加）

欠席者：伊藤亮子委員、畠山真理委員

事務局：三上企画政策部長、伊藤企画政策部次長、
天明屋デジタル政策担当参事、馬場主査、
但馬政策推進課参事、眞鍋主査、八柳主査

傍聴者：1名

会議概要

1 開会

2 報告事項（1）第2期江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和6年度実績について
【資料により事務局説明、質疑等なし】

2 報告事項（2）江別市DX推進方針の進捗報告について
【資料により事務局説明、質疑等なし】

2 報告事項（3）第3期江別市総合戦略における主な取組状況について
【資料により事務局説明】

○佐藤裕則委員

基本目標2の事業として、シティプロモーションと本庁舎建替の2つの事業について紹介があったが、この事業によってどのように人の流れをつくるのか。

○事務局

えべつシティプロモーション高度化プロジェクトは、市のイベントなどの情報をラジオ番組などで広く知っていただくことで、江別市を訪れたいと思う人や、江別市に住みたいと考える人を増やし、江別市への人の流れをつくるもの。本庁舎建替事業については、新庁舎を市民が利用しやすいものにすることによって、市民を含めた新たな人の流れをつくろうというもの。

○佐藤裕則委員

庁舎の窓口機能が充実するのはよいことだが、その土地らしい庁舎という観点も大事ではないか。小清水町ではコンビニやコインランドリーを設置し、町民が集う庁舎を構築している事例がある。様々なものを活用して、人の流れを作っていただきたい。

○龍田副委員長

えべつシティプロモーション高度化プロジェクトの一環で、ヒロ福地氏が江別市まちづくりアドバイザーという立場であることから、工業団地組合の産直朝市開催にあたり、MCをお願いした。快く引き受けて引き受けていただくことができ、ありがたいと感じた。

○佐藤オブザーバー

D X推進方針に関して、デジタル化が総合戦略のK P I 達成のため非常に重要な手段になると思う。そのためには、それぞれの取組には担当課が割り振られているが、横串で刺すような取組が必要。例えば、基本方針①の取組により増えてしまう業務量を、基本方針②の取組により減らすことや、システム同士を連携することで効率化する事例も多くあるだろう。担当課に横串を刺す取組を進めると、K P I の達成も早くなると思われる。

○矢野オブザーバー

K P I はまちの状況を表している。コロナ禍での影響はあるものの、「子育て環境が充実していると思う」や「江別市が暮らしやすいと思う」市民の割合が上がっており、このような「気持ち」に関する割合は上げるのが難しいところだが、順調に伸びており、取組が地元にも愛着を持ってもらうという結果に繋がっていると思う。

暮らしやすさなどは文字では伝えづらいが、動画やラジオを活用したプロモーションにより、実際に来てもらうことで実感してもらうことができる。そして、魅力を発信し続けることで交流人口や関係人口に反映されていくと思う。

○福沢委員長

私から一言所感を述べさせていただく。

今日は報告事項のみであったが、K P I の中には達成できなかったものもある。

今後のこの委員会の使命は、第3期総合戦略の進捗状況のチェック、点検にある。市には、第2期総合戦略で達成できなかったK P I については引き続き改善をお願いしたい。委員の皆様には、報告される達成状況をしっかりと点検してほしい。

3 その他（各委員の感想・意見等）

○福沢委員長

次に、次第3その他について各委員から何かあるか。

○千野委員

資料４の自治会活動のデジタル化に関連して、市民活動センターあいが協力して取り組んだＮＰＯ法人シェロクリの活動を紹介したい。詳細は、お配りした「えべつコラボニュース」を後ほどご覧いただきたい。

○小橋委員

本庁舎建替事業、旧江別小学校跡地利活用事業に期待している。

本庁舎建替事業について、新たな市役所は、職員も市民も働きやすい、過ごしやすい場所にしてほしい。市民がただ手続きをするために行く場所ではなく、ちょっと涼みに、行ったり、気軽に集まれたり、立ち寄れるような場所にしてほしい。

旧江別小学校跡地利活用事業については、私自身が江別地区に住んでおり、どうなるのか気になっていた場所。当該地ではイベント等が開催されることがあるが、周辺の道が非常に狭くて入りづらい。小学校跡地のあとは、ＪＲ江別駅や、周辺地域一帯が活性化するような事業を進めてほしい。

○布施委員

８月２３日にえべつ農業まつり２０２５を開催する。その前の週に、ヒロ福地さんが出演するラジオ番組内の「エベツタイムズ」に関係者が出演してＰＲする予定になっている。今年は、ハルユタカ小麦が４０周年の記念の年であり、関連する飲食ブースの出店もあるので、みなさんにもぜひお越しいただきたい。

○佐藤裕則委員

江別市は小麦のほかにもブロッコリーの有数の産地であるが、広く伝わっていないのが少し残念である。より魅力が発信できるとよいと思う。

○保田委員

基本目標２に関連して、動画配信などによる情報提供について、子育て世代が短時間で気軽に見ることができるコンテンツを配信してはどうか。また、基本目標３に関連して、市のホームページについても、子育て世代が困ったときに、どこにアクセスしたらいいのか直感的に、視覚的にわかりやすくしてもらいたい。そうすることで、市の支援を利用するハードルが下がると考える。

なお、９月２０日の１４時から１６時に、子どもまんなか社会の実現に向けたシンポジウムを北翔大学の大学祭において行う。地域を交えて、みんなで考えられる場にしたと考えている。

○千野委員

「ジモ×ガク」には、ＮＰＯ法人えべつ協働ねっとわーくで事務局として関わっている。皆様には事業に協力いただき感謝する。ＫＰＩ指標である、活動への参加者数や就職者数を爆発的に伸ばすのは難しいかもしれないが、レンタサイクルの受付をしていると、以前江別市に住んでいた、市内４大学の卒業生という方が借りに来るなど、江別市

に愛着を持ってくれていることを感じることもある。数字には表れないがこれも成果と言えると思う。

○鈴木委員

自治会活動のデジタル化に関連して、小学校ではアプリを使って、トラブルにならないような情報の発信方法をとっていると思う。小学校のやり方を参考に、自治会でも回覧などの情報発信をデジタル化できないかと思っている。市としても広報えべつを印刷する手間や、予算の削減に繋がるのではないだろうか。

3 その他（事務局から）

○福沢委員長

次第3 その他について、事務局から何かあるか。

○事務局

次回開催予定は現時点で未定であるため、決まり次第、各委員へ連絡させていただく。

○福沢委員長

本日予定していた議事は全て終了した。これをもって第1回江別市総合戦略推進委員会を終了する。

4 閉会